

★静岡県の教育

- 基本理念  
未来を切り拓く人材の育成と社会を生き抜く力を育む教育の実現
- 取組方針
  - 1 未来を創造する力を育む教育の推進
  - 2 全ての人の学びを支え力を引き出す教育の推進
  - 3 地域ぐるみで取り組む教育の推進
  - 4 学びを支える基盤づくり

令和8年度 松崎町立松崎小学校 グランドデザイン

★松崎の教育

- 基本理念 「だれもが夢を描き、チャレンジできるまち」
- 重点 「発信する」
- 方針 だれ一人取り残すことなく学力を伸ばしながら、「生きる力」を育み、郷土に根づいた子どもの育成を目指す。

【学校教育目標】

やさしく かしく たくましい 松崎っ子

【重点目標】

自分も相手も大切にしよう！ 自分で考え伝えよう 粘り強くやりぬこう

『心を育てよう』

- ＜恕の心＞ 他を受けとめ、認め、許し、その気持ちを思いやる
- ＜至誠＞ 真心をもって、誠実に行動する
- ＜不撓不屈＞ 強い意志をもち、困難にくじけない

学校経営目標・指標

- 子どもの命を守る学校経営（生活安全・交通安全・災害安全）→「自分の身を守るために考えて行動している」100%
- 自分の考えを伝える力を育む授業づくり→「自分の力で考えている。」80% 「相手に分かるように伝えている。」80%
- 粘り強さと自他を大切にできる気持ちを育む環境づくり →「目標に向けて粘り強く取り組んでいる。」90%  
→「自分や友達のよさがわかる。」90% 「相手を思いやる」95%
- 子ども一人一人のよさを伸ばす学校体制づくり →「学校で楽しく過ごしている。」95%

教育目標具現化への方策

学びプロジェクト

挑戦プロジェクト

○主体的に学ぶ姿勢を育てる。(楽しくやりがいのある授業)

- ・見通しをもった単元構想
- ・考える必然性のある課題解決型の授業づくり
- ・学びの成果を発信・共有する場の設定～「分かった」から「伝えたい」～（異学年、全校、地域・異校種）

○伝える力の育成～話す・聴くを通して学び合う児童～

- ・話し合いのルールのご共有と定着（受容的風土）
- ・話す・聴くスキルの系統的指導（声・目線・話型）
- ・豊かな表現力の育成（相手意識の醸成・ICTの活用）
- ・プレゼン力の育成（『考える』・『伝える』・『見せる』）

○確かな学力を支える土台づくり

- ・学びの習慣づくりと環境整備（学校・家庭）
- ・基礎学力の定着（ICTの活用、漢字・計算テスト）
- ・授業における「分かった」「できた」の積み重ね（一人一人のよさを伸ばす支援の充実）
- ・図書室の有効活用と読書活動の推進
- ・学び方の習得・工夫と情報収集方法の選択

表現力の育成から発信へ認め、広げる場の設定

○自分で考えて行動する力や人と関わる力を育てる。

- ・活動への意欲を喚起する仕掛け（より効果的な手立て）
- ・異学年活動の効果的な取組  
（明確なねらい・リーダーシップとフォロワーシップの育成）  
縦割り活動の推進（行事・集会・遊び・清掃）  
学年団活動、地区別活動、委員会・クラブ活動の充実
- ・集会での主体的な発表（自他を大切にできる伝え方）

○目標をもって粘り強くやり抜く力を育てる。

- ・個人や集団としての目標を立て、自他の取組を振り返りステップアップする場と機会の設定（過程）
- ・自己評価、他者評価の位置付け（自己理解・他者理解）

○健康で安全に生活をする力を育てる。

- ・月ごとの生活目標の徹底（生活安全への意識高揚）  
（子どもによる目標設定と学級での自主的な取組）
- ・通学時や災害時の安全な行動・感染症の予防
- ・心の健康・人間関係づくり（養護教諭・SC等による講話）
- ・社会情動的スキルの育成（静岡県版SELの実践）

ICT機器の有効活用 ☆授業の質の向上 ☆効率的効果的な分掌遂行・行事運営←ICT支援員との連携

日本社会に根差したウェルビーイングの向上「自己肯定感」「自己実現」「利他性」「協働性」「社会貢献意識」等

21世紀松崎町三つの実践運動「明るくあいさつ」「はっきり返事」「しっかり後しまつ」

コンパッションタウン松崎 ～気づきと思いやりと対話～

松崎町の幼・小・中職員のクレド（信条）

- ・私たちは、子どもの思いを誠実に受けとめ、努力し伸びようとする子どもたちを育みます。
- ・私たちは、信頼され応援していただける園・学校づくりを目指します。
- ・私たち教職員は、お互いのよさを発揮し、協働して、松崎の教育を高めていきます。

学校評価システム：学校評価（児童・保護者・教職員アンケート）→内部評価→学校関係者評価委員会→情報公開

教職員評価制度：教職員評価（自己目標・手だて・進捗状況の確認・面談・勤務実態調査など）

働き方改革：学校経営における職と職務の再編に向けて 特色ある教育課程編成：[週3日5時間授業]の推進